

2025年3月24日

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	有賀敦紀		
NAME	ARIGA Atsunori		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第 15 条に基づき、下記の通りご報告致します。

1. 研究課題

（和文）空間的音象徴に関する実験心理学的研究

（英文）Experimental Psychological Research on Spatial Sound Symbols

2. 研究期間

2023 年度 ～ 2024 年度

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）

本研究は言語を介さない感覚間相互作用を調べることを目的とした。2023 年度は、対象とする感覚を聴覚や視覚に限定せず、味覚や触覚にも拡大し、感覚間相互作用の基礎的知見を得ると共に、研究手法の確立を目指した。その結果、容器の厚みが飲用体験に影響を与えることを明らかにし、触覚入力が言語から連想される音象徴を介して味覚評価を変調することが示唆された。この変調は感情プライミングの文脈で理解することができる。2024 年度は、言語や音象徴の影響が見られない視覚情報処理に焦点を当てて研究を行った。その結果、特定の刺激に対する感情評価においては、言語ラベルの影響が見られないことを示し、言語や音象徴を介さない感情処理の存在が示唆された。以上の成果およびその関連研究の成果は、以下の国際誌で発表済みである。

- Ichimura, F., Motoki, K., Matsushita, K., & Ariga, A. (2023). The tactile thickness of the lip and weight of a glass can modulate sensory perception of tea beverage. Food and Humanity, 1, 180-187.
- Sugai, M., Yonemitsu, F., & Ariga, A. (2024). Romantic bias in judging the attractiveness of faces wearing masks. i-Perception, 15(5).
- Sasaki, K., Yonemitsu, F., & Ariga, A. (2024). The uncanny valley phenomenon can be explained by categorization failure rather than categorization difficulty. Visual Cognition, 32, 388-399.

（英文）

We investigated the role of language/sound symbols in cognitive processing. The results demonstrated that the tactile input modulates the taste evaluation via sound symbols activated by language, but that the affective evaluation of the specific visual stimulus was not modulated by the language label.